

# リレー・フォー・ライフ・ジャパン レポート



# 2021



*Celebrate*



*Fight Back*



*Remember*



主催

公益財団法人 日本対がん協会  
リレー・フォー・ライフ・ジャパン実行委員会

## 2021年度のリレー・フォー・ライフ活動を終えて

世界中で展開されているリレー・フォー・ライフ（RFL）ですが、コロナ感染という未曾有の事態に直面し、いまでも多くの方々が苦難のなかにいらっしゃいます。そんななか、RFLに対する多くのあたたかいご声援をメールやSNS上でいただきました。コロナ禍だからこそ、RFLがみんなのHOPEであることを強く感じます。活動を牽引してくださっているボランティア実行委員会、変わらぬご支援をいただいているナショナルスポンサー様をはじめとする企業、団体様に深く感謝申し上げます。

RFLの真髄はリアルに語り合い触れ合うことだと思っています。しかし今年も残念ながらほとんどの地域でリアルイベントは叶いませんでした。感染症が人と人のつながりを分断し、常にソーシャルディスタンスを私たちに強いたからです。今できることは何なのか？実行委員の皆様には、オンラインミーティングをはじめコロナ禍における運営に苦労を重ねていただき、また趣向を凝らしたオンラインイベントやセルフウォークリレー（SWR）などを可能な範囲で実施していただきました。誠にありがとうございました。

この冊子は、主にそうした各地区の実行委員会からの活動報告で構成されています。苦悩の中で、がん向き合う勇気や希望が感じられます。たとえ会えなくても、今や情報を共有することで想いは繋がるのです。その新たな発見は、我々のリレーをひと回り強く大きくしてくれた気がします。

2021年度は「3つのC」を合い言葉に活動を進めてまいりました。①ChallengeとしてSWRの拡大をあげ、昨年度と比較し27イベントへと大きく成長しました。②Changeとして、「夜間越え」を必須から推奨に、大きな混乱なくルール変更できました。③Communicationとして、リレー活動の支援者間での更なる関係構築を目指しました。実行委員会向けのニュースレターを毎月1日に発行し、オンライン「みんなでリレー・フォー・ライフ」を10回実施しました。また「Global Heroes of Hopeの会」と「アドバイザーボード」の運営は、リレーにおけるコミュニケーションを支え基盤を強くするものでした。「コロナ禍でもできること」を目指した結果が、おかげさまで少しずつ目に見えてきました。

あらためまして、2021年度をご支援いただいた全国の実行委員会の皆様をはじめとした全ての方に深く御礼を申し上げます。そして、来年度も引き続きご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

公益財団法人 日本対がん協会  
リレー・フォー・ライフ チーム一同

岡本宏之	（事務局長・RFL統括マネジャー）
原優子	（RFLアシスタントマネジャー）
松島順子	（RFL担当）
平野登志雄	（スタッフパートナー）
大菅善章	（スタッフパートナー）
時森由佳	（スタッフパートナー）
堀均	（スタッフパートナー）
郷州葉子	（スタッフパートナー）
堀切園恵美	（サポーター）

## リレー・フォー・ライフとは

がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがん向き合い、  
がん征圧を目指します。1年を通じて取り組むチャリティー活動です。

1985年、一人の医師がトラックを24時間走り続け、アメリカ対がん協会への寄付を募りました。「がん患者は24時間、がん向き合っている」という想いを共有し支援するためでした。共に歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいというこの活動を代表するイベントは、現在世界約30ヶ国、約4500ヵ所で開催され、年間寄付は300億円にのぼります。

リレー・フォー・ライフ活動の締めくくりとしてウォークイベントが開催されます。会場ではチームの仲間とタスキをつなぎ、がん征圧を願い歩きます。

## RELAY FOR LIFEの使命と3つのテーマ Save Lives セーブライブス

祝う Celebrate

がんの告知を乗り越え、今を生きているサバイバーや家族などの支援者を讃え、祝福します。

しのぶ Remember

がんで亡くなった愛する人をしのび追悼します。また病の痛みと悲しみと向き合っている人たちを敬います。

立ち向かう Fight Back

がんの予防や検診を啓発し、征圧のための寄付を募り、  
がんで苦しむ人や悲しむ人をなくす社会をつくります。

3つのテーマに支えられ、使命である Save Lives が成り立っています

### ロゴについて



リレー・フォー・ライフのロゴは、太陽を月と星をかたどった世界共通のものです。

それは昼夜を問わず、がんという病に立ち向かう世界中の数えきれない人々の勇気とリレー参加者への絶え間ないサポートを象徴しています。いつの日かがんで悩むことのない社会が訪れるという希望の星をかがげ、輝く太陽の下、降りそそぐ月の光の中で参加者が一丸となって共に病に立ち向かう。

リレー・フォー・ライフのロゴには、そんな思いが込められています。



# 皆様からのご寄付

リレー・フォー・ライフで寄せられた寄付金は、公益財団法人 日本対がん協会を通じて、  
下記のような支援に充てられています。

がん患者支援



がん征圧

## ▶ リレーイベント



年間活動の締めくくりです。チームの仲間と会場でタスキをつなぎ歩いたり、キャンドルライトセレモニー「ルミナリエ」をおこないます。

## ▶ がんの悩み相談



看護師・社会福祉士などによる電話相談を実施しています。患者さんだけでなく、ご家族やご友人の方などどなたでも無料で利用できます。

## がん相談 ホットライン

☎ 03-3541-7830 予約不要

毎日(祝日・年末年始を除く)  
午前10時～午後1時、午後3時～6時  
どなたでもご利用頂けます

## ▶ プロジェクト未来



がんの新しい治療法や新薬開発、患者のQOL改善に向けた研究に寄付金が活用されています。2021年度は12名の研究者に助成金が贈られました。

## ▶ がん検診受診率アップ



ポスターやパンフレットを制作・活用し受診を呼びかけます。支部と連動したリレー会場における検診車の手配や、セミナーなどの啓発活動もおこなっています。

## ▶ 若手医師育成

がん医療を深く学びたい若手医師育成のため、海外留学研修費用の一部を助成する取り組みです。(2021年度はコロナの影響で募集なし)

### 2019年度 奨励賞受賞者 宇田川 響さん

リレー・フォー・ライフの寄付により、アメリカ、テキサス州ヒューストンのMDアンダーソンがんセンターで、肺がんの研究をしています。ここで得られた経験を、がん患者さんに還元できるよう、日々努めています。



# 2021年度 リレー・フォー・ライフ 取り組み

2021年度のコロナ禍におけるリレー・フォー・ライフ本部主導の3つの企画をここに紹介します。

日本のRFLは、2006年にプレ開催されて以来16年の月日が流れました。いつの時代でもがんサバイバーさんの声は不変です。コロナ時代でも変わらぬ声に寄り添い託された願いを叶えるためには、その時々に応じたRFLの枠組みと取り組みが求められていると感じます。

## RFLJグッズを身に着けて応援しよう

第1回申込受付 7/3-7/13  
第2回申込受付 8/4-8/18

昨年度に引き続き、「RFLJグッズを身に着けて応援しよう」を実施し、ご寄付いただいた方にRFLJ15周年を記念して作製したオリジナルTシャツをお送りしました。

この取り組みにより、総額410,000円のご寄付を頂戴し、Tシャツ製作費や送料など必要経費を除いた258,555円を「がん相談ホットライン」の運営経費として使用しました。



## RFLJ15周年記念Tシャツのデザインについて

Tシャツは、毎年「プロジェクト未来がん研究助成」の応募ポスターでご協力いただいております、10周年ロゴのデザイナーでもある、名古屋デザイナー学院の柴田始志先生にデザインをお願いしました。

このデザインには「15の笑顔：笑顔にしたい。という言葉では軽すぎるほどの強い思いや願いに支えられて迎えた15年目。それでもやっぱり笑えるように、大切な人や関わる人たちの思い描く顔が笑顔でありますように。願いを込めて、15とルミナリエでつくった笑顔をシンボルにしました」といった想いが込められています。

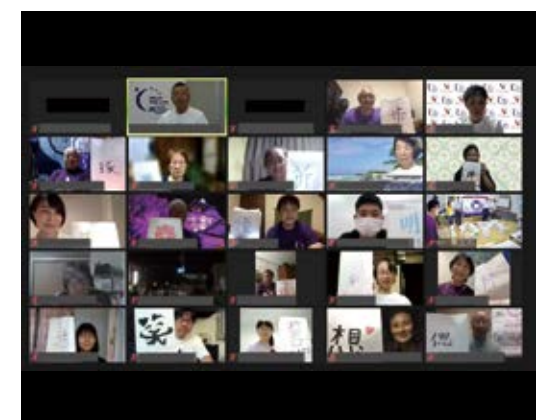
## ONE HOPE NIGHT ～同じ空のしたで～

### 開催日 8/3

RFL創始者、ゴルディー・クラット氏の命日である8/3夜、オンラインイベント ONE HOPE NIGHT ～同じ空のしたで～を昨年に続き開催しました。

参加者ひとりひとりが偲び、ルミナリエをかかげ、そこに書かれた想いをお話いただく時間はかけがえのないものとなりました。

今年度はZoomでのご参加とYouTubeの生配信で多くの方にご参加いただきました。



RFLセルフウォークリレー2021

期間：6月～11月  
目標達成！ 5億4,245万歩  
電話相談7,077件分のご寄付



参加者が好きな時に好きな場所で歩いた歩数をスマホアプリに登録。歩数に応じた金額が支援企業からマッチング寄付される新しい形のオンラインチャリティイベントです。がん患者支援はもちろんのこと、参加者自身の健康増進にもつながります。

今年は、初開催の昨年の経験を活かし、株式会社コングラントとスマホアプリ minpo を共同開発しました。できる限りシンプルでスムーズなアプリ連動を心掛けたリレー仕様のデザインです。また、実行委員会や企業など任意の団体が、思い思いの実施期間を設定できるプログラムにしました。その結果、協会本部に加え、19実行委員会と7企業、計27団体に参画いただきました。期間は8日間から1か月と様々ですが、最多の533名が参加された企業もありました。セルフウォークリレー（SWR）の様子は、各団体のホームページや SNS をはじめ、各地区の新聞、ラジオやテレビなどのメディアを通じて配信されました。全国で4,662人（昨年は2006人）が参加、目標の5億歩を達成することができました。

上記27イベントのご寄付は870万円（詳細は右ページ）。それに特別協賛13企業のマッチング寄付合計額1,960万円を合わせた計2,830万円が今年のチャリティSWRの結果でした。お預かりしたご寄付は、日本対がん協会が運営している「がん相談ホットライン」の相談7,077件の運営に充てられます。ありがとうございました。

ご参加いただいた内439名の方からは「がんサバイバーのお力に少しでもなれればと思い参加しました。たくさん歩いて、たくさん応援したいと思います!」「最近私自身ががんに罹患し手術を行いました。術後リハビリとしての散歩が支援に繋がればこれほど喜ばしいことはありません。頑張って歩きます!」などのメッセージをいただきました。コロナ禍における新しいリレーの形として、今後も改良し継続してまいりますのでよろしくお願いいたします。

最後になりますが、Minpo システム開発に向けて一緒にお取り組みのうえ多大なるご支援をいただいた、武田薬品工業様、とまこまい実行委員会様に対し深く感謝申し上げます。

	実行委員会／企業チーム名	SWR 実施日時	歩数	参加者数	寄付金（円）
1	三重（参加費無料トライアル）	6/12～30	7,319,710	279	29,000
2	きたかみ	8/28～9/4	2,684,251	71	82,000
3	信州まつもと	9/1～30	4,372,356	41	48,000
4	いわて	9/1～20	3,332,562	36	35,000
5	佐賀	9/1～30	2,768,680	47	66,000
6	静岡	9/1～30	6,777,006	61	101,000
7	ブラザー	9/1～30	35,527,971	210	216,000
8	熊谷組	9/1～30	61,090,668	309	1,311,000
9	さいたま	9/1～30	31,012,910	224	306,000
10	滋賀医科大学	9/11～10/10	18,915,606	120	172,000
11	わかやま	9/12～10/11	11,654,625	66	84,000
12	川越	9/18～26	15,072,984	148	169,000
13	信州長野	9/18～30	3,244,337	74	87,000
14	とまこまい	9/18～10/17	44,376,918	416	1,286,000
15	京都	9/26～10/23	11,523,091	105	111,000
16	御茶ノ水	10/1～30	29,056,508	201	289,000
17	ベックマン・コールター	10/1～30	21,950,757	119	590,956
18	室蘭	10/2～31	24,791,631	224	874,000
19	大分	10/14～24	20,654,086	378	361,000
20	チームタケダ	10/24～11/23	80,806,164	533	1,309,000
21	神戸	10/30～11/28	3,923,262	23	26,000
22	小野薬品工業	11/1～30	38,285,505	297	302,000
23	沖縄うらそえ	11/1～30	11,596,334	137	105,000
24	佐世保	11/1～14	15,010,143	301	373,270
25	E C C	11/1～30	10,703,232	59	77,000
26	エーザイツくば	11/1～30	6,229,454	51	100,000
27	日本対がん協会	11/1～30	19,778,354	132	198,000
	合計		542,459,105	4,662	8,708,226

\*全てアプリ分に非アプリ分を加えた合計



## 北海道 室蘭市

室蘭実行委員会

## 来年こそは！

事務局長  
小田中 稔

残念ながら新型コロナウイルス感染症の収束が見られないため、リアルでのイベントは断念し、RFLJ室蘭は、今年もセルフウォークリレーのみの開催となりました。

期間は10月2日から31日までの30日間といたしましたが、想定しておりました倍以上の224人の方にご参加いただき、総歩数につきましても、当初目標の倍以上の24,791,631歩となりました。また、今年も多くの企業や団体の皆様からご寄付も頂きました。ご協力いただきました皆様に改めて心から感謝申し上げます。

現時点（2021.12）においては、日本国内においては新型コロナウイルス感染症は抑えられている状況ではありますが、世界的にみるとブレイクスルー感染等、感染拡大傾向にあり、3回目のワクチン接種が進められている状況であります。

また、RFLJ室蘭の会場は、室蘭市港湾部所管の土地をお借りしておりますが、現在、洋上風力発電関連施設の建設計画が進められており、もしかすると現地での開催は来年が最後となるかもしれません。

新型コロナの感染状況を含め、来年の夏がどのような状況になっているかは不透明であります。来年こそは、室蘭の会場で皆様とお会いできることを楽しみにしております。

（写真は、2019年度開催時のものです。）



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	—
SWR	10月2日～10月31日

総収入	974,000円
実行経費	120,162円
寄付総額	853,838円

## 北海道 苫小牧市

とまこまい実行委員会

ひとりじゃないという思いは  
きつとつながる副実行委員長  
藤田 廣美

「RFLJとまこまい」は今年も感染症の影響により会場イベントの開催を断念し、2回目となる「セルフウォークリレー@とまこまい」を9月18日～10月17日にかけて開催しました。

今年はみんなで楽しく歩いてがん患者さんを支援したいと、苫小牧市の公式キャラクター「とまチョップ」の育成キャラの登場や、歩いた景色や動画をSNSで共有する「SWRぶらとま探検隊」などの取り組みを実施して、参加者からは離れていても一緒に歩いていることを実感したと大変好評でした。また、セルフウォークリレーは地元の新聞に何度も掲載され、NHKやケーブルTVでも紹介されるなど、RFLの活動を幅広く伝えることが出来ました。

今年の参加者はサバイバーさん33名を含めた416名（目標300名）、寄せられた歩数は4千4百37万歩（目標1千万歩～変更3千万歩）となりましたことをご報告いたします。

イベント終了後には当実行委員会下村事務局長が米国対がん協会より'2022 Global Heroes of Hope'認定という嬉しい知らせを受けました。事務局長のこれまでの頑張りに心から敬意を表したいと思います。

「セルフウォークリレー@とまこまい」にご支援いただいた企業、団体の皆様、そしてオンラインで参加下さった全国の皆様に心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。今後ともRFLへのご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	—
SWR	9月18日～10月17日

総収入	1,451,459円
実行経費	151,459円
寄付総額	1,300,000円

## 青森県 八戸市

八戸実行委員会

コロナなんかに  
リレーフォーライフは負けねーぞ実行委員長  
小渡 章好

2021年の八戸のリレーフォーライフは6月26,27の両日開催される予定でした。前年のリレーが突然のコロナ渦により開催不能となり、今年こそは、と意気込んで新年を迎えたものの、コロナの勢いは弱まることはなく第1回以来の6月開催は断念、10月開催なども検討しましたがサバイバーが多く関わり参加するイベントの特性のリスクを考慮し、最終会議に参加した実行委員全員の意思により本年のリレーフォーライフは行わない、と決定しました。それでも、なんらかの活動をと、実行委員たちは中心街の施設でルミナリエの開催を計画しましたが、市有施設の使用閉鎖等もあり断念しました。

「今年もリレーフォーライフはできないのですね」。何人もの知らない方から声をかけられた実行委員は一人にとどまりません。参加経験のある方、会場まで行ったものの中に入る勇気を持てなかったと言う方、など様々な方々です。リレーフォーライフが地域に欠かせない大切なものとして根付きつつあることを実感させられました。リレーフォーライフは未来の人たちからの預かり物でもあることを感じました。

コロナは自在に変異し、跋扈している。であれば、対峙して生きるわたしたちはさらに自由度高く変化を遂げるチャンスとすべきではないか。そんな意見交換も八戸ではできないだろうか。各地域ではオンラインなど多様なツールを活用した新たなチャレンジで、リレーフォーライフの世界を拡げようとしている。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	—
SWR	—

総収入	130,539円
実行経費	122,811円
寄付総額	7,728円

## 青森県 青森市

青森実行委員会

## コロナとの共生

事務局長  
加藤 幸二

日頃からご支援頂いている皆様におかれましては、今年度も大変お世話になりました。

今年度もコロナウイルス蔓延の状況は変わらず、実行委員会を含め協議した結果、サバイバーの方々の体調第一と考え今年度も開催を見送らせて頂きました。楽しみにしていた皆さんには大変申し訳なく思っているのと同時に、2年連続未開催ということで、せっかく5年間開催し少しずつ浸透してきたリレー・フォー・ライフ自体が忘れられてはいないか心配になっています。

同じく心配事としては新聞、報道等でも取り上げられておりますが、コロナウイルスが「がん検診」にも影響が出てきていると聞き、来年以降の罹患者増が懸念されます。そのような状況において、我々ができることと考えてみると、やはり年間を通しての「がん啓発、啓蒙活動」なのかなと感じています。私自身どちらかというと、リレーイベントをゴールに走っている感がありましたので、これからは初心に戻り活動していきたいと思っております。

来年こそは皆さんと再び元気な姿でお逢いできることを楽しみにしております。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	—
SWR	—

総収入	213,000円
実行経費	0円
寄付総額	213,000円



## 岩手県 一関市

## いわて実行委員会

## 十年一昔 ～次の一步へ

副実行委員長  
小野寺 佳美

「ひとりじゃない」と掲げ、歩み続けた一関地域のRFL。2021年は10周年の記念大会として盛大に開催したいところでしたが、昨年同様、新型コロナウイルス感染防止を考慮したRFL活動をどのように進めるのか協議するところから始まりました。他の地域での取り組みを参考にしながらも、「いわて」らしさや10周年を迎えたことを大事に考え取り組みたいと話し合いを重ねました。

10周年のロゴを入れたポロシャツを作成し、過去にリレーイベントへ参加したチームなどに呼びかけ、地元の衣料品店の協力もあり約300枚販売しました。患者会や実行委員からの寄稿文をまとめた10年間の振り返る記念文集を作成しました。手作りでしたが感慨深いものになりました。

9月11日夕方からの3時間、いつもの公園でルミナリエを灯し、オカリナの演奏、記念文集の朗読、エンプティータブルセレモニーを実施しました。動画配信もチャレンジしました。短時間でしたが約60名の参加者を迎えミニイベントを開催することができました。

コロナ禍でできることが制限されるからこそ、RFLで何をしたいのか改めて考える機会になり、各実行委員会が個性がでているのだと感じています。いわて実行委員会は新たな一歩を踏み出します。



リアル開催	9月11日
開催地	一関遊水地記念緑地公園
オンライン	—
SWR	9月1日～9月20日

総収入	2,070,173円
実行経費	1,016,969円
寄付総額	1,053,204円

## 岩手県 北上市

## きたかみ実行委員会

## 「誰のために、何のためにを忘れずに…」

実行委員長  
高橋 寛美

RFLJきたかみ2021は、実行委員一同意見を出し合い、新たな試みを取り入れ工夫を凝らし、コロナ禍でもできることを考え様々実施して参りました。

啓発活動の一環としてラジオ番組『医療と福祉の現場から』を制作し、地元コミュニティFMから毎週放送してきました。さくらホールにおいてはにぎわいフェスとのコラボにて啓発活動を、アプリを活用したセルフウォークリレー、岩手県立中部病院内には年間活動を紹介したパネルを掲示させていただき、市内企業、団体の皆様には募金箱の設置、協賛等多くの皆様のご理解ご協力を頂き、年間を通じて活動を行うことができました。

また2021年の集大成として、9月4日にはYouTube生配信にてリレーイベントを開催しました。生配信を行うにあたり事前収録、動画制作など実行委員の得意分野を活かして参りました。

この一年実行委員をはじめとする皆様の協力があり、活動ができたものと思っています。RFLJきたかみ2022に向けて、「誰のために、何のために」を忘れず「がんになっても住みよい街きたかみ」を目指し、笑顔の絶えない実行委員会として活動して参りたいと思います。

RFLJきたかみ2021の活動にご協力、ご支援頂いた多くの皆様に感謝申し上げます。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	9月4日
SWR	8月28日～9月4日

総収入	904,718円
実行経費	226,826円
寄付総額	677,892円

## 宮城県 仙台市

## みやぎ実行委員会

## 2021年のRFLJみやぎを振りかえって。

実行委員長  
高橋 悦堂

RFLJ2021みやぎは、11月20日に宮城県岩沼市「千年希望の丘 相野釜公園」を会場に、実行委員10名ほどが集まり、手作りで2時間のオンラインイベントを行った。

会場は東日本大震災で甚大な被害を受けた地区につくられた、海に近い公園である。この会場を選んだのには意味がある。今年は東日本大震災から10年。RFLJは地域とともにがんと向きあい、がん征圧をめざす活動である。宮城とともに歩いていく活動であり続けるためには、東日本大震災の記憶と現状とともに歩いて行かなければならないと考えているからだ。それをどうにか形にしたかった。「地域とともに歩む活動」であり続けるために何をすべきか、RFLJみやぎの課題のひとつである。

だが、惜しむらくは今年もコロナの影響で思うように活動や準備が出来なかったことにある。来年もコロナの影響が避けられないと思うと、やるせない気持ちだが、その分、優しさはよりあたたかみを増すと思う。寄付や協賛支援をして下さった個人・団体さんの想い、支援動画を作成して下さいの穂音楽隊さん、ISSINさんの気持ち、そして実行委員のこころは、動画を視聴して下さいのサバイバーさんやケアギバーさんにいつも以上にあたたかく届いていると思う。

苦しみのなかにあるからこそ、優しさは一層あたたかくなる。そんな想いを胸に2022みやぎに向かって行きたい。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	11月20日
SWR	—

総収入	250,600円
実行経費	42,000円
寄付総額	208,600円

## 秋田県 秋田市

## あきた実行委員会

## 初開催！RFLJあきた

実行委員長  
守田 亮

2021年11月27日13時より秋田県で第1回目となるリレー・フォー・ライフ・ジャパンあきたが開催されました。思い起こせば2018年12月に秋田で初めでのリレー・フォー・ライフ・ジャパンの実行委員会が立ち上がり、約3年の時間が経過しての初開催となりました。当初2020年7月の初開催を目指して、秋田県総合保健事業団さんのご協力のもとで毎月実行委員会を開催してまいりました。しかしながら、皆様もご存知の通り世界中でコロナウイルス感染が猛威を振るっていた時期であり、準備をしてきた実行委員の皆様とも相談の上で、がん患者さんの安全を第一に考え中止の決断をさせていただきました。それでも何とか開催にこぎつけたい・・秋田のがん患者さんを支えるきっかけを作りたいとの想いから、いつ開催できるかもわからない中で実行委員会を重ね、ハイブリッド開催（秋田県内の方のみ会場参加可能、他県の方はオンライン参加）という形で無事に開催できました。今回は初開催の秋田県の皆様に『リレー・フォー・ライフって何だろう?』を届けるため、また『がん患者さんに必要な情報を届けたい』をテーマに開催させていただきました。

イベントの最後にはルミナリエの動画紹介させていただき、温かく心にしみるメッセージに参加者の中には涙を流す方もいました。来年こそは秋田県で初のリアル開催を目指していきたいと思います。引き続きのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



リアル開催	11月27日
開催地	秋田県総合保健センター
オンライン	—
SWR	—

総収入	339,156円
実行経費	15,000円
寄付総額	324,156円



## 福島県 福島市

## 福島実行委員会

## RFLJ 福島2021を終えて

会計  
安斎 紀

2010年からスタートし、東日本大震災の年は会場探しに苦労しながらも開催した福島のリレー・フォー・ライフ・ジャパンでしたが、昨年は他の実行委員会同様、新型コロナウイルスの影響で開催を断念しました。

しかし、今年は実行委員一同「コロナ禍だからこそがん患者の支援を」という想いで、今年は7月11日に「街なか広場」で3時間という縮小した形で開催しました。実行委員会リモートで行うなど工夫し、当日は約20チームの参加がありましたが、各チームからは少人数での参加をお願いし、受付後に市内を自由に歩くというスタイルで実施しました。例年のようなイベントは出来ませんでしたが、会場では募金活動とチャリティーTシャツやグッズ販売などを行いました。また当日会場参加出来ない多くの方のためにSNSでルミナリエ動画を公開したり、小児がん支援の「レモネードスタンド」と同時開催したことも、今年の特徴です。また、今年のTシャツは、昨年開催に向けて準備していたデザインに、「2020」と「2021」を入れたオリジナルデザインに仕上がりました。

このような状況下でも福島のリレー・フォー・ライフ・ジャパンにご協力下さった皆様に感謝致すると共に、来年も状況に応じた開催が出来るようにと願っております。



リアル開催	7月11日
開催地	街なか広場
オンライン	—
SWR	—

総収入	2,059,494円
実行経費	1,174,831円
寄付総額	884,663円

## 栃木県 壬生町

## とちぎ実行委員会

## 世界初!「走るルミナリエ」

ルミナリエ担当  
江波戸 和香

RFLとちぎは昨年中止を余儀なくされたため、今年こそは皆様にお会いしたいという思いで開催時間の短縮等の議論を重ね、直前まで準備を進めてまいりました。しかし新型コロナの感染拡大のために現地開催を断念し、プログラム内容を厳選の上、2時間でのオンライン開催となりました。それぞれの場所から実行委員が力を合わせ、走り抜けた2時間でした。私の担当したルミナリエ中継班は、当初は毎年開催していた会場にルミナリエを設置し中継する予定でしたが、会場が使用出来なくなったことに加え当日の悪天候も重なり、やむなくチームフラッグと一部のルミナリエのみ日光市内の田んぼに設置し、それ以外はすべて室内の廊下にて紹介する形となりました。ご参加の皆様にも少しでも楽しんでもらえるようにと、BGMが流れる中静止しているカメラに向かって実行委員がルミナリエを持って走って近づいていくという紹介方法に決まったものの、15分という短い時間の中でお預かりした千枚以上のルミナリエを紹介しなければならなかったため、全てを紹介しきれず不安を感じていました。しかしチャットからの声援を頂きながら走り続け、奇跡的に曲が終わると同時に最後の一枚を紹介することが出来た時は、これ以上ない達成感に包まれました。オンラインであっても繋がれたという喜びを抱いて、とちぎは2022年に向けて動き始めます。来年こそはリアルで皆様とお会いできることを心から楽しみにしております。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	9月18日
SWR	—

総収入	1,942,142円
実行経費	929,667円
寄付総額	1,012,475円

## 群馬県 前橋市

## ぐんま実行委員会

## ルミナリエとリレー動画で繋がる想い

副実行委員長  
狩野 太郎

今年9回目となるRFLJぐんまは、昨年に続き新型コロナウイルス感染防止のため会場でのリレーウォークイベント開催を断念しました。大型台風の直撃を受けた一昨年から3年連続の中止となりましたが、事務局を担当している群馬県健康づくり財団の皆さまのご尽力により代替イベントを開催することができました。今年は同財団の駐車場を会場に、県内の皆さまから寄せられた700を超すルミナリエを設置し点灯イベントを開催しました。また、常連30チームの協力を得て、応援リレー動画の制作と配信も行いました。会場を照らすルミナリエには、闘病中のサバイバーの皆さんやご家族の願い、大切な人を見送った方の想い、がんに向かう勇気が、イラストやメッセージで力強く描かれていました。応援動画にはフレッシュな若者、元気で明るい元若者、陽気なウクレレ演奏や、優しいギター演奏が寄せられ、会場に集まれなくても心はつながっているように感じました。旅立っていったあの人にはもう会えないけれど、あの人が繋げてくれた新しい仲間と、次は緑の芝生の会場であの人の思い出を語りたい、4年前に参加してくれた大学生達はもう卒業してしまうけれど、次は社会人となった彼・彼女らとまた会場で会いたい、と新たな希望が生まれました。

最後になりますが、事務局の皆さん、協賛企業、ボランティアの皆さんをはじめ、応援して下さいましたすべての方々に心から敬意と感謝を申し上げます。



リアル開催	10月8日
開催地	群馬県健康づくり財団
オンライン	—
SWR	—

総収入	4,211,268円
実行経費	803,756円
寄付総額	3,407,512円

## 埼玉県 さいたま市

## さいたま実行委員会

## 来年以降に繋げるための足跡を

実行委員長  
大竹 秀幸

世界中がコロナに振り回された2年、私たちの活動も制限せざるを得ませんでした。コロナの影響で、直接・間接関わらず多くの人たちが命を落として苦しんでいますが、サバイバーの皆さんはコロナに関わらず毎日がん向き合い、闘っています。

11月13日、毎年のイベントを心待ちにしていたサバイバーの皆さんに思いが届くよう、実行委員のメンバーのみによる手作りの「プチセレモニー」を開催いたしました。

ルミナリエ・エンブティテーブル・サバイバーズラップ…

喜びと哀しみと感動が凝縮された記憶に残る1時間。

会場は、さいたま市が管理する恒例の「緑の広場」に隣接する農業施設の倉庫で、決して見栄えのするスペースではありませんが、旅立たれたサバイバーの皆さんが会場探しで迷われない様にとの思いを込めて設えた会場でした。

リアルなチーム参加は叶いませでしたが、ライブでZoom配信した会場の様子と共に、これまで参加頂いた53チームをスライドで紹介いたしました。2年お会いできなかったチームの皆様との再会とサバイバーの皆様への想いを込めた小さなセレモニーによって、2021年の足跡を残せたことに、準備・参加頂いた実行委員、協力頂いた皆様「One TEAMさいたま」に心から感謝を申し上げます。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	11月13日
SWR	9月1日～9月30日

総収入	1,818,115円
実行経費	815,928円
寄付総額	1,002,187円



## 埼玉県 川越市

## 川越実行委員会

ひとりじゃない！  
～心はあなたとともに～事務局  
遠藤 大介

今年も皆様には温かいご支援とご寄付をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。また、全国からSWRやオンライン配信への大勢のご参加、誠に有難うございました。

さて、RFLの国際実施基準には「毎年の開催をめざす」という文言があります。これまでも折にふれ繰り返されてきた言葉ですが、今年以上にこの言葉の重みを感じた年はありませんでした。2021年1月の実行委員会では「川越水上公園（今までの会場）でのリアル開催を目指そう」と意気込んで活動を始めましたが、春になっても感染状況は収まらず、水上公園での開催は断念せざるを得ませんでした。しかし、何とか皆さんと会える機会を作りたいと内容や時間をコンパクトにし、会場も街なかに移し企画を練り直しました。

リニューアルに併せ、市民 一般向けのがん啓発や協賛企業ご紹介の意味も込めて「小江戸川越ハートウォーク（ウォークラリー）」を新たに企画。チェックポイントには、ルミナリエバッグや手形フラッグなど、リレーを象徴するグッズを並べ、リレーを 知るきっかけづくりとし、また、今年から実施されたSWRの啓発として、アプリ「minpo」を活用して実施する予定でした。残念ながら、緊急事態宣言により実現しませんでした。またいずれ企画したいと思います。

来年も14回目の開催をめざし、皆さんと前に進んでまいりますので、引き続き温かいご支援をよろしくお願いします。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	9月18日
SWR	9月18日～9月26日

総 収 入	896,521円
実 行 経 費	318,301円
寄 付 総 額	578,220円

## 埼玉県 所沢市

## ところざわ実行委員会

## がんのこと 知ろう・話そう・考えよう

実行委員長  
松島 一浩

2020年秋、6名の有志が集まりRFLJところざわ準備室を立ち上げました。この1年試行錯誤の連続でしたが、思いのほか多くの方のご支援を賜り、記念すべき第1回目のイベントを無事に開催することができました。ご参加、ご協力いただきました皆さまにこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。

イベント当日は会場の所沢航空記念公園（埼玉県所沢市）に実行委員・サポータースタッフのみ集合し、会場を拠点に全国へオンライン配信を行ないました。

弊会のテーマ『笑顔と希望をつなぐ出会いが待っている。所沢で共に歩もう』は、実行委員全員で活動を通して何を達成したいのか考え、全員の想いを文章にした大切なテーマです。新型コロナウイルスの影響により、オンラインZoom開催となりましたが、テーマを具現化するため、聞くだけの一方通行ではない啓発企画を、「がんのこと 知ろう・話そう・考えよう」と題し、質問時間を大きく割り双方向の参加型啓発イベントを実施しました。

またYouTubeライブ配信も同時に行い、頂いたメッセージを番組内でシェアする等、工夫しましたが、機材トラブルにより配信が遅延してしまい誠に申し訳ございませんでした。

今後も地域の皆さまのお力をお借りして、がん征圧・がん患者支援を目的に、寄付活動や啓発活動等を通じて希望が持てる社会に行きたいと思います。

益々のご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	10月16日
SWR	—

総 収 入	527,500円
実 行 経 費	203,706円
寄 付 総 額	323,794円

## 千葉県 柏市

## ちば実行委員会

## まずは、第一歩!前に

実行委員長  
廣瀬 亜須可

11月20日晴天!無事にリレー・フォー・ライフ・ジャパン2021ちばを開催できました。ゼロからのスタート、実行委員長として右も左もわからずに発進しましたが、強力な助っ人を得て開催できたことに心から感謝致します。ありがとうございます。

細かなお手伝いや技術の提供、リレーウォーク、座談会の進行と参加、諸先生からお寄せいただいたビデオメッセージ、感謝しかありません。

本当なら立ち上げから仲間であった、ホリウチさん。7月23日に旅立ってしまわれましたが、私達は、きっとそばにいる!と感じながら会場にいました。同じ場で盛り上げてくれている声が聞こえるようでした。

まだ企業様、各種団体へのお声掛けは不十分でしたが、今後はご理解・ご協力いただけるような活動を目指します。そして来年は少しでもチームや、一般の方々にご参加いただけるよう、頑張りたいと思います。

まずは、第一歩!前に進められたことに我々、安堵しております。

皆さまのご協力、本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いたします。



リアル開催	11月20日
開催地	千葉県立柏の葉公園
オンライン	—
SWR	—

総 収 入	153,300円
実 行 経 費	30,300円
寄 付 総 額	123,000円

## 東京都 台東区

## 東京中央実行委員会

つながろう・サバイバーに  
寄り添う～をめざして事務局長  
松原 幹夫

今年のイベントは上野恩賜公園での開催を予定していましたが、昨年に引き続きオンライン開催となりました。今回は「つながろう」をテーマに、コロナ禍で孤独になりがちなサバイバーの方々に寄り添いたい、リレー・フォー・ライフの活動を多くの方に知ってほしい、そのような思いで「東京しかできない」企画をと考えました。

アグネス・チャンさんには、サバイバーの方々への、思いのこもったビデオメッセージをいただきました。俳優の生稲 晃子さんと原 千晶さんには、サバイバーとしてのご経験と活動についてお話しいたき、サバイバー・ケアギバーの方々とも交流いただきました。

がんと新型コロナウイルスとの関係について、多くの権威ある海外の医学論文を平易な日本語で要約・発信されている旭川の松崎 道幸医師にご講演いただきました。在宅ホスピス研究所バリアン代表／森の診療所の川越 厚医師に、緩和ケア・在宅ホスピス医としての、がん患者・家族との関わりについてお話しいたき、参加者からの、多くの疑問・質問にお答えいただきました。楽天メディカルジャパン(株)の虎石 貴社長には、新しいがん治療「光免疫療法」の現状と今後についてお話しいたきました。

多くの参加者から「今年も参加できてよかった」「有用な情報が得られて良かった」という言葉もいただきました。それを励みに、どのような状況にあってもミッションを果たせるよう活動したいです。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	11月6日
SWR	—

総 収 入	1,235,704円
実 行 経 費	445,617円
寄 付 総 額	790,087円



## 東京都 文京区

## 御茶ノ水実行委員会

## RFLJ 東京御茶ノ水、5周年を迎えて

実行委員長  
柴山 春奈

皆様の温かいご支援とご協力のおかげで、RFLJ 東京御茶ノ水は、今年で5周年を迎えることが出来ました。御茶ノ水実行委員会は、日々がんと向き合っている方々を応援し、その思いに寄りそっていききたい、頑張りすぎている皆さんには、無理をしないで、周りの仲間にも助けを求めてほしいという思いを込めて、「頑張らないを当たり前」というスローガンを掲げて、活動してまいりました。

今大会は、オンライン開催2年目となりましたが、コロナ禍という制限されている中でも、昨年度は作成することが出来なかったサバイバーズフラッグを作ることができたり、同日にリレーイベントをオンラインで開催していたRFLJ 大阪あさひとのコラボレーションという形でそれぞれの思いを共有したりなど、新しいことへの挑戦や、オンラインという特徴を生かした内容をお届けすることができたかなと思います。

また、オンラインだからこそ、病院にいても、そしてつらくて外に出ることができなくても、参加できるリレーイベントにすることが出来ましたし、直接的な交流が難しい中ではありましたが、リレー・フォー・ライフらしさ、御茶ノ水らしさも、十分に発揮することが出来たのではないかと思います。

がんと向き合い懸命に頑張っている人たちに、一人ではないことや仲間がいることを伝えられる、そして少しでも前向きな気持ちになれる、そんなリレーをこれからも繋げていきたいと思っています。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	10月23日～10月24日
SWR	10月1日～10月30日

総収入	766,576円
実行経費	2,153円
寄付総額	764,423円

## 神奈川県 横浜市

## 横浜実行委員会

## 希望(HOPE)につながる活動

実行委員長  
池田 誠吾

横浜実行委員会としては4回目となるイベントも無事に終えることができました。今年も終息しないコロナの影響で時間も人数も縮小しての開催となりましたが、皆様の温かいご寄付・ご協力により、目標を大きく上回る金額が集まりました。ご参加頂きました皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

皆様のご協力が、現在、そして未来のサバイバーへの希望(HOPE)に必ずつながります。がんで悲しむ人や悩む人がゼロになる日はきっと訪れます。その日をみんなで盛大にお祝い出来ることを目指してこの活動を続けていきます。来年こそはコロナが終息して、皆さんと会えることを実行委員のメンバー全員楽しみにしております。

「がん」が「風邪」と同じような扱いになるかのような世の中になりますように....。感謝。



リアル開催	10月2日
開催地	臨港パーク 芝生広場
オンライン	—
SWR	—

総収入	1,549,671円
実行経費	362,671円
寄付総額	1,187,000円

## 新潟県 新潟市

## にいがた実行委員会

## 実行委員会として何が出来たのか

実行委員長  
石塚 紀明

にいがた実行委員会では、昨年に続いて「たがいに・にいがた」のキャッチフレーズのもとにイベント開催をいたしました。

誰もが体験したことのない未曾有の危機に直面した昨年は、かたちを変えてオンラインでのイベントに。迎えた今年は、「今年こそは通常開催を」「今年こそは直接お会いして温もりを伝えよう」と挑みましたがコロナの収束は見えず、2度目のオンラインという形になりました。そのような状況でしたが、沢山の皆様に「心の温もり」をお伝え出来ればと実行委員全員で頑張らせて頂きました。

私は、今回初めて実行委員長を務めさせていただきましたが、多くの方々にご支援いただき、また楽しみにしている方々の思いを糧に、無事に開催する事が出来ました。リレー・フォー・ライフの活動は、サバイバー、ケアギバーはじめ、活動に関わる沢山の方々のご協力によって続けられるのだと改めて気づき感謝しかありません。

来年も引き続き多くの方々に支えられ、支えて頑張らせて頂きます。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	9月19日
SWR	—

総収入	1,094,356円
実行経費	747,182円
寄付総額	347,174円

## 富山県 富山市

## 富山実行委員会

## 2022年にFirst Challenge

実行委員長  
伊東 重明

富山は、first challengeをスローガンに9月に「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2021富山」が初開催される予定でしたが新型コロナウィルスの感染拡大の影響によりご参加いただく皆様の健康と安全を第一に考え実行委員会での話し合いの上、来年2022年5月に延期と致しました。

辛いがんと闘っている患者さん及びそれを支えて頂いているご家族の皆さんやご友人を讃え、そしてがんと闘った末にやむなく天国に旅立ってしまった方々を偲ぶ場としてリレー・フォー・ライフというイベントを富山の皆さんに知っていただき、多くの方に喜んでいただこうと準備をしてきて参りましたので、延期の決断は非常に残念でしたが、今後は引き続きより一層充実した素晴らしいイベントとなるよう実行委員会一同知恵を絞って企画していく次第であります。

最後になりましたがこのような情勢の中、ご支援、ご厚情を賜りました皆様に感謝の想いと御礼を申し上げます。

来年5月にリレー・フォー・ライフの会場で皆さんと笑顔でお会いできるよう楽しみにしております。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	—
SWR	—

総収入	0円
実行経費	0円
寄付総額	0円



## 石川県 金沢市

石川実行委員会

## メッセージツリー～今年は二か所で！～

実行委員長  
龍澤 泰彦

リアル開催

—

開催地

—

オンライン

—

SWR

—

総 収 入

5,838円

実 行 経 費

3,222円

寄 付 総 額

2,616円

## 福井県 福井市

ふくい実行委員会

## コロナ禍でもつないだ「Save Lives」

実行委員  
鰐渕 浩子

リアル開催

—

開催地

—

オンライン

—

SWR

—

総 収 入

200,001円

実 行 経 費

880円

寄 付 総 額

199,121円

## 山梨県 甲府市

甲府実行委員会

## それでもつなげる意志

実行委員長  
前澤 美代子

リアル開催

—

開催地

—

オンライン

8月27日

SWR

—

総 収 入

489,706円

実 行 経 費

264,550円

寄 付 総 額

225,156円

## 長野県 長野市

信州長野実行委員会

## 「一緒に歩こう」

実行委員長  
北條 千秋

リアル開催

—

開催地

—

オンライン

—

SWR

9月18日～9月30日

総 収 入

311,000円

実 行 経 費

127,174円

寄 付 総 額

183,826円



## 長野県 松本市

## 信州まつもと実行委員会

## 今できることを

事務局長  
今村 仁美

終わりの見えないこのコロナ禍の中で、今私たちができる精一杯のことをしたいという想いの中での一年間の活動でした。

当初は9月4日に松本城大手門枡形跡広場でのイベント及び松本市市民活動サポートセンターから配信のハイブリットでの開催を予定していました。しかし、直前にコロナウイルスの急激な感染拡大による長野県独自の「命と暮らしを救う集中対策期間」ということでイベントの中止又は延期の要請が発令されました。そこで苦渋の決断として、枡形跡広場でのイベントの延期、市民活動サポートセンターから盛田大介実行委員長をはじめとしたがん専門医の先生方の講演等の配信のみ実施という選択をせざるを得ませんでした。

当日は経験のある実行委員を中心に配信を行いました。初めてということもあり、小さなトラブル、反省点も多々ありました。しかしながら皆様の支えもあり無事全ての配信を終えることができました。

また、9月に延期した枡形跡広場でのイベントは10月2日素晴らしい秋晴れの下開催することができました。今回は松本市内に点在する井戸巡りをしながらウォークを楽しんでいただき、イベントの最後には皆様の想いのこもったたくさんのルミナリエとともにエンプティータブルのセレモニーを実施しました。

コロナウイルスの収束とともに、また気兼ねなく皆様にお会いできる日を待ち望まずにはられません。



リアル開催	10月2日
開催地	松本城大手門枡形跡広場
オンライン	9月4日
SWR	9月1日～9月30日

総 収 入	845,437円
実 行 経 費	221,006円
寄 付 総 額	624,431円

## 岐阜県 岐阜市

## 岐阜実行委員会

## 来年もまた逢おう。ひとりじゃないよね。

実行委員長  
吉田 正樹

2年振りの対面リアルイベントが、無事終了いたしました。

今年も4月から10月には何らかの形でイベントを開催しようという熱い想いで、委員会を開いてきましたが、その委員会もコロナ感染対策としてほとんどweb会議で、いつも開催できるかできないかの繰り返しでした。

「より多くの人にリレー・フォー・ライフを知ってもらいたい。」を掲げ一般の方々が往来するぎふメディアコスモスカオカオ広場で開催しました。密を避けたリアルイベント、そして夜越えをせず、安全安心を心掛けました。初めての夜のラストウォーク、閉会式と貴重な体験をしました。幕を閉じる前、西の夜空には三日月と金星が優しく微笑んでいました。「来年もまた逢おう。ひとりじゃないよね。」とつぶやいていました。

実行委員、スタッフの皆さんお疲れ様でした。そして何よりご協力くださった方々には心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



リアル開催	10月9日
開催地	ぎふメディアコスモス
オンライン	—
SWR	—

総 収 入	336,323円
実 行 経 費	76,674円
寄 付 総 額	259,649円

## 静岡県 静岡市

## 静岡実行委員会

## 静岡の継続開催にむけて

副実行委員長  
村田 貴彦

令和3年11月6日（土）「RFLJ 2021静岡」が静岡県立大学と共催のもと行われました。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により、やむなく中止となりました。又、今年は当初9月18日（土）に開催予定でしたが台風の接近及び新型コロナウイルスの感染状況を考慮して11月6日に延期することにしました。そこで、今年は来年以降に向けた継続開催につなげるためにまずは開催することを目標にして現地での参加者はRFL 静岡実行委員を中心とした25人のメンバーに絞り、県立大学の渡邊先生の研究室とAVLサークルのメンバーの協力を得て、Zoom及びYouTubeによるリモートでのハイブリッド開催で県立大以外の場所からも大会に参加できるように企画しました。

夕方には多くの思いが綴られたルミナリエに燈が灯り、会場のモニュメント下には「HOPE」の文字が鮮明に映し出されました。従来、ルミナリエの灯りにろうそくを使用していましたが、今年からは、準備の作業量及び火を使用するリスクを避け、LEDランプを使用しました。ルミナリエの灯りや「HOPE」の文字は、経営情報学部の外階段に設置されたカメラに映し出され、リモートでの参加者にもはっきりと見ることができました。その後、大講堂ではルミナリエセレモニーが行われ、天国に旅立った仲間を偲ぶと共に、がんで苦しむ人、悲しむ人がいなくなる社会を築く大切さを、参加者一同、心に刻みました。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	11月6日
SWR	9月1日～9月30日

総 収 入	1,213,769円
実 行 経 費	350,551円
寄 付 総 額	863,218円

## 愛知県 豊川市

## 東三河実行委員会

## 二年ぶりの開催は『ONE HOPE NIGHT』

実行委員長  
小林 良紀

昨年は「RFLJ 東三河」のイベント開催を断念し、応援いただく皆様から残念がる声や来年はぜひ開催してという声を多く聞きました。この反省を踏まえ今年はぜひ開催しようと準備を進めました。日に日に変わるコロナ情報に注視しつつ、イベント内容に臨機に対応できるよう計画を練りました。ワクチン効果により規制緩和傾向にありましたが、時期尚早と判断し、チーム参加やリレーウォークは中止しルミナリエセレモニーを開催しました。併せて対がん協会主催の「セルフウォークリレー」への参加周知と動画のライブ配信を行いました。会場と自宅及び職場が同じ時間を共有できたと思います。

当日は肌寒さを感じる日にもかかわらず、ルミナリエセレモニー会場には多くの皆様が見学に訪れ、希望の灯に祈りを捧げ、朗読に生演奏に耳を傾け、大切な人を想う静かな夜を過ごされました。また、会場内でセルフウォークへの参加周知を呼びかけ、スタッフ等10名の皆様に11月末まで実施していただき、総数120万歩の記録を達成しました。この成果を今後のチーム及び協賛企業の参加に繋げ、より大きな絆の輪に広げたいと思います。

今年はコロナ禍のイベント開催で不安もありましたが、皆様の元気な姿を見て私たちの思いは繋がっていると改めて実感しました。来年も「RFLJ 東三河」のイベント開催と「SWR 東三河」の参加を目指し頑張ります。



リアル開催	11月7日
開催地	豊川市体育館前広場
オンライン	—
SWR	—

総 収 入	409,363円
実 行 経 費	74,890円
寄 付 総 額	334,473円



## 三重県 松阪市

三重実行委員会

### 大切な人に届いた、それぞれの祈り

会計  
水谷 貴子

2021年1月、悲しい知らせが届きました。前回開催の実行委員であった仲間が、天国へ旅立たれたと…。笑顔の素敵で彼女はまだまだ若く、懸命に病と闘っていました。彼女のためにも、何としても三重でリアル開催を目指す!!

リモートで定例会議を重ねるうちに、出来ることを新しいやり方で、知恵を出し合い、そして何より安全に、実行委員みんなの心がひとつになっていきました。

梅雨の中休みとなり、爽やかな青空のもと迎えた開催当日。久々に実行委員のみんなと会えた喜び。夕暮れとともに、それぞれの想いが込められたルミナリエバックに、静かに灯りがともされました。一本の道のように繋がる灯りは、天国の彼女への道標となってくれたのでしょうか。エンプティテーブルの椅子には穏やかに微笑む彼女の姿が見えました。

コロナ禍ではありましたが、たくさんの方の暖かい協力のおかげで、すべて予定通り無事に終えることが出来ました。規模を縮小しての開催は、より人と人との繋がりが、がん征圧に向けての想いを丁寧に感じる事が出来たのだと思います。

厳しい状況の中、お手伝いいただいたボランティアの方々、会場に足を運んでくださった参加者の皆様に感謝いたします。

また、全国で初めての試みであった「セルフウォークリレー」にてご参加いただいた方もありがとうございました。

ひとりみんなの為に、みんなはひとりの為に。さあ、来年に向けて準備を始めよう!



リアル開催 6月12日～6月13日

開催地 松阪市総合運動公園

オンライン —

SWR 6月12日～6月30日

総 収 入 1,133,958円

実 行 経 費 278,009円

寄 付 総 額 855,949円

## 滋賀県 大津市

滋賀医科大学実行委員会

### コロナを追い風に。自信と展望

実行委員長  
上原 希

昨年の初めてのオンライン開催から1年。なんとか対面で、という想いは叶わず、今年もCOVID-19の感染状況を鑑みて、完全オンラインでの開催となりました。しかし、実行委員会としての充実度は昨年と比較するととても大きいリレーイベントとなりました。

今年度のリレーイベントは「学生だけでどこまでできるか」「学生だからこそできることは何か」、この二点を追い求めました。学生のみで企画を作り出し、複数のテーマについて満足のいく啓発ができたと感じております。

加えて、実行委員と参加者の交流企画を行うことで、オンライン開催によって忘れていた参加者の皆さんとの繋がりを再認識することができ、「地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指す」というリレー・フォー・ライフの目的の重要性を感じました。

参加者の皆様につきましても、自分の地域には頼れる場所があり、決して一人ではないということを感じていただけたのではないかと思います。

また、実行委員の卒業に伴い、来年以降は対面でのリレーイベントを知らない実行委員が大半となりますが、今年度の開催で身についたノウハウと自信を対面でのイベントに活かしていければと思います。対面開催となれば大変なことが多くなるかとは思いますが、今までとはまた違う視点からイベントを創り上げることができればと思います。

来年こそ皆様と会場でお会いできることを願っております。



リアル開催 —

開催地 —

オンライン 10月16日～10月17日

SWR 9月11日～10月10日

総 収 入 910,179円

実 行 経 費 485,817円

寄 付 総 額 424,362円

## 京都府 京都市

京都実行委員会

### コロナ禍だからこそできることを

実行委員長  
清水 大器

今年度のリレー・フォー・ライフ・ジャパン京都（以下RFLJ京都）は、府内でのコロナウイルス感染状況を鑑み、セルフウォークリレーの実施およびZOOMを用いたオンライン開催とすることを決断しました。

今年度も現地開催は出来ないままでしたが、セルフウォークリレーでは、スマホアプリminpo内で確認できる歩数や参加人数を見て、がん患者支援のために共に歩いてくれる仲間がいることを常を感じる事ができました。

最終的に105名の方にご参加いただき、総歩数は11,523,091歩に達するなど、京都の底力に勇気づけられました。特筆すべきは、実に7割近い方がRFLJ京都の運営するイベントに初めて参加して下さっていたという点でした。これまでは会場に足を運ぶことができなかった方が、どこにいても参加できるようになったという点において、オンラインだからこそその良さを生かせたのではないかと思います。

また、オンラインイベントの当日には、集まれる場所としてのRFLJ京都を継続してくれてうれしいとのご意見を数多くいただきました。コロナ禍だからこそできることを今年1年間で精一杯やりぬいたことは、今後の活動においても糧になると確信しました。

来年もがんと闘う方々が集まれる場所としてのRFLJ京都を開催できるように、実行委員一同、心を込めて準備していきたいと思っています。



リアル開催 —

開催地 —

オンライン 10月23日

SWR 9月26日～10月23日

総 収 入 395,703円

実 行 経 費 150,925円

寄 付 総 額 244,778円

## 大阪府 貝塚市

泉州かいづか実行委員会

### オンラインで「笑顔☆つながる」

会計  
碓氷 みゆき

新型コロナウイルスの猛威は予想以上で、4月には第4波が襲来し、実行委員会としても苦渋の決断ではありましたが、オンライン開催を決定しました。その後、8月に第5波による緊急事態宣言が発令され、準備にも影響が及びました。

そのような状況の中、実行委員会で見解を出し合い、なんとか当日を迎えました。配信の拠点となる会場は、去年とは違い広い場所を確保することができ、実行委員が大勢集まることができました。プログラムによって、生配信、録画配信を組み合わせながら、手作り感満載でしたが、YouTubeで24時間配信できました。開会式、エンプティテーブルセレモニー、語り場、閉会式は生配信で行いました。エンプティテーブルセレモニーとコスモスの部屋の間にルミナリエで作ったHOPEを設置しました。亡くなられた方に、来年も必ずここで会えることを約束しました。語り場では、遠方の方の参加もあり「笑顔☆つながる」が実現できました。ステージ参加チームの、チャリティーオリジナル動画の配信や、医療講演などは録画配信で、医療講演については再放送も行いました。また、緊急事態宣言の中、当日配信はできませんでしたが、募金箱の回収も行い、後日YouTubeで紹介させていただきました。

新型コロナウイルス感染症の終息はまだ見えませんが、来年こそは現地でとの思いを抱きながら、新しい形のRFLJ泉州かいづかを作っていきたいと思っています。



リアル開催 —

開催地 —

オンライン 10月30日～10月31日

SWR —

総 収 入 484,612円

実 行 経 費 209,922円

寄 付 総 額 274,690円



## 大阪府 大阪市

## 大阪あさひ実行委員会

## 「世界一やさしいRFLを目指して」

事務局長  
遠藤 晃弘

RFLJ2021大阪あさひは、おかげさまで無事に終了致しました。

コロナの影響で開催が危ぶまれましたが「誰かが待っていてくれる限り、やらないと言う選択肢は無い！」との思いで、この状況下で何ができるか？を実行委員会で協議しプランを練り、多くの方々にご協力いただき今年も開催することができました。

会場はブースや人が少なくてちょっと寂しい感じもありましたが、コロナ禍の中にも関わらず、約150名の方が足を運んでくれました。

また17名のサバイバーさんが元気な姿を見せてくれました。

On Lineでの参加も定着してきて3日間で約600名に視聴していただきました。

サバイバートーク「がんと生きる・がんと働く」では元CAで治療しながらフライトを続けていた女性の話にとっても感銘を受けました。

コロナの規制で夜間は会場の使用が出来ない為、リアル会場は夜間停止となりましたが新しい試みとして、On LineでRFLJ御茶ノ水実行委員会さんとなつながつたり、夜中にがん拠点病院めぐりを行い配信したり、河川敷に移動して夜明けを配信したり、等々やってみました。逆境にめげない、じっとしていられない、大阪あさひが証明されたような夜超えでした。大阪あさひとしての開催は今年で8回目となりました。

これからも初心を忘れず「世界一やさしいリレー・フォー・ライフ」を目指して頑張り続けます。



リアル開催 10月23日～10月24日

開催地 大阪市立旭区民センター

オンライン 10月23日～10月24日

SWR —

総 収 入 356,408円

実 行 経 費 38,496円

寄 付 総 額 317,912円

## 兵庫県 芦屋市

## 関西(芦屋)実行委員会

オンライン開催を  
無事に終えることができました実行委員長  
着能 “きらきら” 敬子

皆さまのお陰をもちまして9月4日「RFLJ2021芦屋」のオンライン開催を無事終えることができました。

昨年、川西運動場での開催ができず、今年こそは皆さまと走ったり、歩いたり、語り合ったりしたいと準備を進めてまいりましたが、まん延防止等重点措置のため苦渋の決断を迫られ、泣く泣く屋外での開催を取り止めました。

本当に悔しく悲しい思いでいっぱいでした。でも、気持ちを切り替え規模を縮小し青少年センターのみでの開催に向けさらに準備を進める中、今度は緊急事態宣言が発出されました。私たちは、悩みに悩みました。“皆さまの大切な命を守りたい・皆さまと繋がりたい・皆さまに想いを届けたい”

この状況下で私たちにできることは何かを考えました。そして、完全オンライン開催を行うことにしました。それぞれの場所からみんなで繋がり、同じ時間を過ごし、心を通わせることができればと思いオンライン配信を行いました。

実行委員のみんなも、それぞれの場所からの配信となりとても不安でしたが、お互いを信じ皆さまに想いを届けたいという気持ちで臨みました。画面を通してですが皆さまと繋がることができたこと、大変嬉しく思っております。来年は会場で皆さまにお会いできることを願っております。

最後になりましたが皆さまからの温かいお言葉、ご支援、ご協力に心より感謝しております。 本当にありがとうございました。



リアル開催 9月4日

開催地 市立体育館・青少年センター

オンライン 9月4日

SWR —

総 収 入 1,544,354円

実 行 経 費 770,781円

寄 付 総 額 773,573円

## 兵庫県 神戸市

## 神戸実行委員会

## 「再会できた喜び」

実行委員長  
相川 尚子

今年は、昨年以上に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、積み上げてきた開催予定が二転三転した大変な年となりました。

「本当に開催できるのだろうか」と実行委員の心も折れそうになる中、サバイバーさんから届いた心強い応援のメールやメッセージにパワーをいただいたことで、前に進むことができたと思います。サバイバーさんやケアギバーさん、そしてRFL神戸を応援してくださる皆さまとの絆を、より実感することができました。

時短開催で残念ながら今年は夜越えができませんでしたが、リレーウォークにキャンドルラン、ミュージックパトン、語らナイト。そしてあの震災の日以来灯り続ける「希望の灯り」を、竹灯籠のHOPEとルミナリエに移して灯すキャンドルライトセレモニーとエンプティテーブルの朗読など、神戸ならではの「命のリレー」を、今年も繋ぐことができたことに、ご支援ご協力いただいたすべての皆さまに、感謝の思いでいっぱいです。

緊急事態宣言解除直後という状況の中、予想以上に多くの皆さまにご来場いただき会場内のいたるところに笑顔が溢れ、あちこちから聞こえる「やっと会えたね」「また会えてよかったね」という再会を喜ぶ声に、開催を決めて本当に良かったという思いがこみ上げてきました。この絆を大切にし、「神戸にできる、神戸ならではのRFLの活動を、これからも続けていきたいと思っています。



リアル開催 10月30日

開催地 みなとのもり公園

オンライン 10月30日

SWR 10月30日～11月28日

総 収 入 919,458円

実 行 経 費 873,827円

寄 付 総 額 45,631円

## 和歌山県 和歌山市

## わかやま実行委員会

## WEBで伝えるリレー・フォー・ライフ

事務局長  
岩倉 敏浩

いつもリレーフォーライフわかやまを応援いただきありがとうございます。

今回も多くの方々にお支えいただき、無事にイベントを開催できました。コロナ禍で動きづらい環境下であっても、WEB上で「待ってました」とお声がけいただいたこと、大変嬉しく心が温まる想いでした。

今年は天候に恵まれず9月開催となりましたが、和歌山の通常開催時期である来年5月も、光り輝く和歌山城の下で、皆さまと共に祝い、共に偲び、そしてまた次に向かって立ち向かえる場所を作り続けます。だから楽しみにしててください。

皆さまとお会いできることを、大切な方に会えるその日を、心から楽しみにしています。

今回もたくさんのご声援、本当にありがとうございました。



リアル開催 —

開催地 和歌山城公園砂ノ丸広場

オンライン —

SWR 9月12日～10月11日

総 収 入 247,530円

実 行 経 費 152,530円

寄 付 総 額 95,000円



## 広島県 広島市

## 広島実行委員会

## RFLJ2021広島無事終了!!

実行委員長  
浜中 和子

リアル開催 9月19日～9月20日

開催地 広島大学広仁会館

オンライン 9月19日～9月20日

SWR —

総 収 入 1,682,634円

実 行 経 費 994,634円

寄 付 総 額 688,000円

## 山口県 山口市

## やまぐち実行委員会

## 想いをルミナリエにのせて

事務局長  
田部 一則

リアル開催 10月2日

開催地 山口県総合保健会館

オンライン —

SWR —

総 収 入 277,754円

実 行 経 費 80,028円

寄 付 総 額 197,726円

## 徳島県 徳島市

## とくしま実行委員会

## 「寄り添う」を続ける

デジタル広報担当  
上野 一

リアル開催 —

開催地 —

オンライン 10月16日

SWR —

総 収 入 404,777円

実 行 経 費 304,656円

寄 付 総 額 100,121円

## 香川県 高松市

## かがわ高松実行委員会

変化しながらも、  
継続することに意義がある!実行委員長  
十川 美加

リアル開催 6月5日

開催地 サンポート高松

オンライン 6月5日

SWR —

総 収 入 572,882円

実 行 経 費 333,014円

寄 付 総 額 239,868円



## 高知県 高知市

高知実行委員会

## 「思いをつないでいく」

事務局長  
小野川 雅英

昨年は新型コロナウイルス感染症流行のため残念ながら中止しましたが、代替えとして会場を準備しルミナリエバックへの点灯やルミナリエセレモニーを実施しました。そしてその模様をWebで配信し、見て下さった方々から喜びや感謝の声をいただきました。

今年は何とかみんなで集まれる場を提供したいと秋の開催に向けて準備してきました。夏頃までは変異株の流行など実施できるか不透明な状況が続きましたが、ワクチン接種が進んできたことが影響したのか急速に感染者数も減少し10/16 春野運動公園で、半日ではありましたが予定通り開催することができました。

当日の天気予報は雨。せっかくの開催なのにと心配しましたが、みんなの気持ちが変わり開催時には晴れ間が差してくれました。参加された方の表情はみんな笑顔で、開催に向けて準備してきて良かったと心から思えました。

今年、参加チームは11チームと少なかったですが、個人参加も含めて350名程の参加者を得て開催できました。また、当日の模様はfacebookにもアップし多くの方に見ていただけました。開催にあたり、実行委員会メンバーだけでなくボランティアスタッフや参加者にも多大なご協力をいただきました。また、企業・団体の皆様からは引き続き後援・協賛をいただきました。心から感謝申し上げます。

来年は15周年の節目を迎えます。実行委員長はすでに来年は24時間イベントを実施するぞと燃えています。



リアル開催	10月16日
開催地	高知県立春野総合運動公園
オンライン	—
SWR	—

総 収 入	1,483,631円
実 行 経 費	530,256円
寄 付 総 額	953,375円

## 福岡県 福岡市

福岡実行委員会

## 参加者の笑顔とやさしい光に包まれて！

実行委員長  
花村 茜

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け開催を断念せざるを得ませんでしたが、今年はいつもとは、表情の異なる新会場で13回目となる福岡のリレーを開催する事が出来ました。

この開催を迎えるまで多くの課題がありました。その都度、何度も何度も会議を重ねアイデアを出し合い当日を迎えた時には、ただただ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。そして、久しぶりの再会。参加者チーム皆さんの溢れる笑顔を会場のあちこちで見ることが出来て、やっぱりやって良かったと、全てが報われた思いでした。歩く両脇には冬の桜をイメージしたピンクのイルミネーションが。そして、その奥の階段には、HOPEと命のルミナリエが輝き、歩き続ける人たちの心を明るく照らしてくれました。RFLはサバイバーだけでなく支える側のケアギバーの心の拠り所としてもとても大切な居場所です。また、遠くにいて参加出来ない方や会場に来られなかった方にも聞いてもらいたいとYouTube配信をしました。

RFLは、サバイバーと勇気と希望を分かち合う世界共通のチャリティーイベントであり、ここで見るたくさんの笑顔は、自分らしく生きる事へのエールです。RFLでの出会いを活かしてこれからも生きる力に繋がるよう命のリレーを続けていきたいと思います。これまで、RFLJ福岡を応援してくださいました皆様のご協力ご支援に心より感謝申し上げます。また、来年笑顔で会いしましょう。



リアル開催	11月21日
開催地	福岡女子大学キャンパス
オンライン	—
SWR	—

総 収 入	823,283円
実 行 経 費	343,300円
寄 付 総 額	479,983円

## 佐賀県 佐賀市

佐賀実行委員会

## 「コロナ禍で開催したパネル展」

会計監査  
福島 龍一

コロナ禍の状況が見えない中で、「出来れば開催したい」という熱い思いで、今年度もスタートしましたが、残念なことに第5波の影響により、2021大会は中止という判断をせざるを得なくなりました。併せて、毎年タイアップして開催されていた「がん征圧県民のつどい」もまた中止という結果に終わり、昨年度のような形での開催も断念することとなりました。しかし、コロナ禍の推移を見ながら、何か行っていくことが見つければ、その時には形を変えてでも内容を縮小してでも行いたいという実行委員の熱意が実って、10月18日（月）から21日（木）にかけて、佐賀県庁県民ホールにおいて、パネル展という形でリレー・フォー・ライフの告知活動を行ったところです。また、セルフウォークリレーへの参加、ホームページやフェイスブックで実行委員のリレー・フォー・ライフに対する思いを掲載させていただき、今年度の集大成とさせていただきます。

このような厳しい状況下においても協賛金や募金をしていただいた有志の方々には、大会という形でのご報告は出来ませんでしたが、お預かりした基金は、がん征圧のために有効に活用させていただきたいと思います。最後に来年度がどのような状況になるのかは見えていませんが、がん征圧に向けての啓発活動をより充実したものへと進歩させていくことを目指して、今年度の報告とお礼とさせていただきます。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	—
SWR	9月1日～9月30日

総 収 入	791,834円
実 行 経 費	275,317円
寄 付 総 額	516,517円

## 長崎県 佐世保市

佐世保実行委員会

## RFLJ 長崎県初開催を目指して

実行委員長  
吉村 市代

佐世保でのRFLJ 開催が決まったのは2020年の3月でした。翌年6月開催と決定し委員会メンバーは希望に胸膨らませ動き出したのもつかの間、まさかのパンデミックが、やって来ました。結局、協議を重ねた結果、安全を優先し1年延期としました。

県内の多くの方々は、RFLJを知りません。医療関係者も例外ではありません。長崎県はがんの罹患率が全国ワースト上位にも関わらず、なんでがん患者や家族を支援するこのイベントがなかったのか尋ねられる事もあります。がん患者さんで、自分ががんであることを周りの人に隠している方もいます。そんな方も含めリレーイベントに参加しサバイバーズラップで祝福を受ける感動を味わってもらいたい。苦しかった時の体験を自然に話せる場を作りたい。そんな思いで私達は試行錯誤しながら準備を進めています。

PR活動の要としてSWR参加を決め、最終日には、本番と同じ会場を使いウォークイベントを企画し、約120名の一般市民の皆様にご参加頂きました。ルミナリエとエンプティテーブルの展示と説明およびミニ版のサバイバートークで会場の皆様に「RFLJってこんな感じですよ、来年本番も絶対ご参加下さいね」と呼びかけました。

2022年6月11日～12日、長崎県初開催、フルパワーで皆様をお迎えします。「海風の街佐世保」でお待ち申し上げます。



リアル開催	—
開催地	—
オンライン	—
SWR	11月1日～11月14日

総 収 入	0円
実 行 経 費	0円
寄 付 総 額	0円



## 熊本県 熊本市

### くまもと実行委員会

#### 「心ひとつ絆つむいで」の仲間たちと

実行委員長  
山本 宏子

昨年くまもとは、第10回のアニバーサリーの会でした。ご来場いただく方々をどうおもてなししようと実行委員全員がワクワクしながらの準備でしたが、未曾有の「新型コロナ」に外出さえ憚られる日々を送る毎日に一変しました。続く本年も白川公園でのイベントも中止をすることとなりましたが、新緑の美しい白川公園を見て頂きたく実行委員数人で小さなイベント…頂いたルミナリエや竹明かりを見ていただくことにしました。白川公園でのイベントはほとんどが良い天気恵まれての開催でしたが、朝から終日の雨。11回目のくまもとは実行委員や参加予定だった方々の無念の涙のように感じたのは私一人ではなかったと思います。

「心ひとつ絆つむいで」のくまもとのスローガンは、東北の地震津波の数日前に誕生した言葉でした。癌を経験した私、その数年後にたった一人の妹を血液癌で亡くしました。自分の治療が終わった直後、ネットで同じ病気の仲間を探し、シアトルに住む日本人女性と知り合うことが出来ました。そこで彼女の参加するRFLを知りました。平成11年のことです。その後、色んな女性癌の人との交流で日本での開催を知るにあたり、是非この活動に参加したいと思うようになり現在に至っています。

心ひとつ絆つむいで…で繋がった仲間たちとリレーを続けサバイバー、ケアギバーの方々と繋がり、10・11回目も込めた12回目の開催を予定しています。ワクワクしています！



リアル開催	—
開催地	白川公園(熊本市)
オンライン	—
SWR	—

総 収 入	649,124円
実 行 経 費	247,372円
寄 付 総 額	401,752円

## 大分県 大分市

### 大分実行委員会

#### 3年ぶりの再会

実行委員長  
清原 裕之

14年目の大分実行委員会ですが、昨年はコロナ禍、加えて一昨年は荒天で開催できなかったため、リレーの灯を絶やさないためにも会場でのリレーが出来ないかと模索しました。そして、昨年挑戦した新たな経験と他会場の感染対策を共有し、短時間ではありますが3年ぶりにいつもの会場で皆さんとお会いすることができました。

本来は多くの方に知って頂きたいのですが、感染対策として来場人数の制限や事前登録のため大々的な広報ができず、感染拡大・縮小が繰り返される中で難しい判断が続きました。このような状況下でできる事、サバイバーの皆様にご自身で描いた手形を集めたサバイバーフラッグを作成しました。そして、会場以外でもウォークができるセルフウォークリレーを実施し、感染が落ち着いた中で大会を迎えることができました。例年参加しているサバイバーさん・チームも今年は参加できないという方が多くいました。しかし、短縮開催にも関わらず多くの方に集まって頂いた事は皆様のリレーへの強い思いと、この思いに応える実行委員会の責任の大きさを改めて感じました。このような状況で頂きました温かい声援・ご支援は実行委員会にとっても大きな力となりました。改めて御礼を申し上げます。そして、いつか会場で会える日が来るまで『会えなくても繋がっている』気持ちを大切に、リレーの灯を絶やさないうコロナ禍でもできることを続けていきたいと思っています。



リアル開催	10月24日
開催地	大分スポーツ公園大芝生広場
オンライン	—
SWR	10月14日～10月24日

総 収 入	926,097円
実 行 経 費	112,834円
寄 付 総 額	813,263円

## 宮崎県 宮崎市

### 宮崎実行委員会

#### たくさんの想いと一緒 希望の光を灯しましょう

実行委員長  
ガードナー 真理

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2021宮崎は、去る10月2日3日フィオーレKOGA看護専門学校において、青空の下開催いたしました。コロナウイルス感染症の影響で小規模開催となりました。感染症対策を徹底し無事故で終える事ができました。これもひとえに皆様のご協力のおかげです。多大なるご寄付・ご協賛下さった皆さま、快くステージにご出演下さった皆さま、ボランティアでご参加下さった皆さま及びたくさんの思いを込めたルミナリエを書いて下さった皆さま、そして何より熱い思いで今回のリレー・フォー・ライフ会場まで足を運んで下さった皆さまに、心より感謝申し上げます。

寄付金は、運営費を除き、日本対がん協会を通じ「がんの研究助成」「ホットライン等の患者支援」「若手専門医の奨学金」等に使用されます。がん患者さまやそのご家族はもちろん、全ての方々に「来年も楽しみにしているよ!」と言っているイベントとなるよう実行委員一丸となって頑張っておりたいと思いますので、これからも何卒ご支援、ご協力をいただけますようよろしくお願い申し上げます。



リアル開催	10月2日～10月3日
開催地	フィオーレKOGA看護専門学校
オンライン	—
SWR	—

総 収 入	767,349円
実 行 経 費	181,461円
寄 付 総 額	585,888円

## 沖縄県 浦添市

### 沖縄うらそえ実行委員会

#### どこからでも気軽に参加できる！

実行委員長  
上原 弘美

今年はSWR参加とオンラインとラジオを組み合わせたイベント開催でした。SWRはアプリ登録に多少手間取ったものの歩数がカウントされ誰がどのくらい歩いたのか、参加者同士で楽しく競うことができました。歩くことで健康増進、そして寄付に繋がる仕組みが素晴らしいと思いました。

12月11日（土）は晴天の中、浦添市西原公民を会場としオンラインイベントが開催されました。オンラインゆんたくタイムに始まり、セミナーやルミナリエセレモニー、サバイバーズトークなど盛りだくさんのプログラムが配信されました。少し高台で景色を遮るものもない会場に差し込む太陽の光が次第に沈み夕暮れ時になると、ルミナリエが灯りはじめ「HOPE」の文字が輝き会場を温かく包んでくれました。その後は会場をFM21ラジオ局に移し、日頃気になることを医師や看護師に質問する「ありんくりん相談コーナー」や「ラジオでつながるルミナリエ」、翌朝はオンライン「朝日を見よう」で無事閉幕となりました。慣れない素人が操作するオンラインイベントはトラブル発生もありましたが、いつもの「なんくるないさ〜」精神で乗り切りました。リアルに会えない寂しさやもどかしさもあるけど、オンラインだからこそ全国津々浦々、遠くても体調が悪くても自宅から、ベッドの中から、どこからでも気軽に参加できる良さを感じたイベントでした。今年もご協力ご支援いただいた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



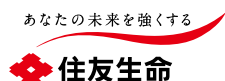
リアル開催	—
開催地	—
オンライン	12月11日～12月12日
SWR	11月1日～11月30日

総 収 入	515,395円
実 行 経 費	159,071円
寄 付 総 額	356,324円



## 2021 特別協賛

総合教育・生涯学習機関



※五十音順

がんで苦しむ人や悲しむ人をなくしたい



公益財団法人

日本対がん協会



日本対がん協会公式HP

<https://www.jcancer.jp>



リレー・フォー・ライフ・ジャパン  
公式HP

<https://relayforlife.jp>



リレー・フォー・ライフ・ジャパン  
公式Facebook

<https://www.facebook.com/RelayForLife.Japan>